

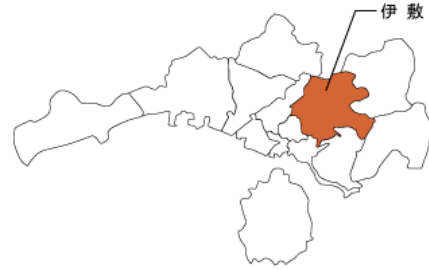


6-8 伊敷地域

(1) 地域の概要

◆地域の状況

伊敷地域は、本市の北西部、甲突川の中流域に位置し、甲突川沿岸の限られた平坦地以外は、丘陵地や山地で構成され、ほぼ旧伊敷村の区域にあたります。



◆地域の人口

伊敷地域の人口は、2005年国勢調査において約5万7千人で伊敷ニュータウンなど新興住宅団地の整備によって微増傾向であったが、2000年から1.1%の減少となっています。

また、本地区の高齢化率は23.1%で、全市平均より高くなっています。

(2) 緑に関する現況と課題

◆地域の特性

地域の大部分は農村集落地であり、三重岳等の一団の山林や甲突川など、良好な自然環境が多く残されています。また、かごしま健康の森公園、鹿児島市都市農業センター、北部清掃工場など市民及び広域の交流や公共サービスの拠点となる施設が整備されています。

◆緑の現況

伊敷地域の都市公園は48箇所あり、一人当たりの公園面積9.8㎡で、本市の平均より高くなっており、主な公園緑地等には、かごしま健康の森公園、鹿児島市都市農業センターなどがあります。

本地域の緑被地は64.5%で、本市のなかでは高い状況にあり緑に恵まれています。

地域制緑地では、身近な水辺環境である甲突川河畔、団地周辺の斜面緑地、三重岳を中心とする貴重な自然環境などを有しています。

◆緑の課題

地域の市街地は、国道3号沿道の平坦部と丘陵部の伊敷団地などの住宅団地に限られており、地域の大部分は山林と山間部の農村集落となっています。

この地域では、農村集落機能の活力の維持と増進を図り、緑豊かな農地、農村集落と都市的土地利用の調和した緑の形成を図ることが求められています。



● 伊敷地域の緑のまちづくりの資源と問題点等の分布図



◆地域の資源

自然	①市街地や住宅団地の身近な水辺環境である甲突川河畔 ②伊敷団地、花野団地等周辺の一団の斜面緑地 ③三重岳を中心とする貴重な自然環境 ④花野川・長井田川などの甲突川支流の自然環境
公園緑地	⑤農業を通じたレクリエーションの場である都市農業センター ⑥健康をキーワードにした広域的な交流施設であるかごしま健康の森公園
公共的な施設等	⑦八房神社 ⑧幸加木神社 ⑨伊邇色神社 ⑩名突観音（梅ヶ淵観音）

凡例

	一団の山林自然環境
	斜面緑地
	公園等
	公共的な施設等
	住宅団地
	住宅地
	農村集落地
	地区・地域界
	市街化区域





(3) 伊敷地域の緑に関する方針

◆目標

丘陵の自然に抱かれた

「自然や農業と調和する緑のまちづくり」

伊敷地域は、伊敷ニュータウンなどの住宅団地と北部の農地や山林で構成されています。かごしま健康の森公園や鹿児島市都市農業センターなどの交流拠点となる施設が整備されています。自然や農業との調和した緑のまちづくりを目指していきます。

◆施策・事業

①「協働により緑を守り育む仕組みの拡充」に関する施策

施策1 市民による緑化活動の推進

○市民との協働による緑化を図り、花いっぱい運動による持続的な都市緑化に努めます。

②「自然環境資源を次世代へ継承」に関する施策

施策5 シンボル拠点となる緑地の保全

○三重岳周辺の山林や甲突川などの自然景観を保全します。

③「鹿児島らしい公園緑地を目指して機能の充実」に関する施策

施策10 緑の拠点となる公園の再整備促進

○かごしま健康の森公園は、スポーツやレクリエーションを楽しめる公園であり、市民のふれあいや交流を促進するため、自然や景観を生かし、健康を目指した機能の充実を図ります。

○三重岳自然遊歩道、かごしま健康の森公園、鹿児島市都市農業センターなどの自然を活かした施設の活用を図ります。

④「身近な緑の育成・創出」に関する施策

施策12 身近な公園・広場の創出

○伊敷、下伊敷地区の平坦部やさつま団地等について、民有地を借上げるなど地域の状況に応じた公園整備を推進します。

施策14 水と緑のネットワークづくり

○緑の軸として地域を流れる甲突川沿岸の緑化を推進します。



● 伊敷地域の緑の方針

“丘陵の自然に抱かれた「自然や農業と調和する緑のまちづくり」”

